

不景氣を知らぬ商店と醫院案内
俄造りのパンやさんとなつた。頭を打たれてから十年此の間の奮闘は實に涙ぐましい迄の感があつたが氏は一旦志した事業を終始一貫遂に久保田のパンとして著名になつた成功者の一人である。第二世久保田も克く父君の志を承けて有ゆる奮闘に快哉を叫んでゐられる。

大角茶店
大角茶全や茶舗として平第一繁昌の店、繁昌する理は店主の堅實な商略と第一に本場から品質優良のものを直入で安賣りするからである。

吉田眼科病院
不景氣のせいとか多くの醫院が患者少でコボンてゐる中、此所ばかりは彼れだけ廣い家が患者で一パイだ原因は親切と斯科の泰斗である事に依る。

白萩酒店
玉川酒店
定評ある優良品を安價に賣る店、一度同店と取引した左黨の決して忘れられない店と云つて置かう。

平町二丁目
平町一丁目
平町三丁目
平町四丁目
平町五丁目
平町六丁目
平町七丁目
平町八丁目
平町九丁目
平町十丁目
平町十一丁目
平町十二丁目
平町十三丁目
平町十四丁目
平町十五丁目
平町十六丁目
平町十七丁目
平町十八丁目
平町十九丁目
平町二十丁目

高岡屋商店
和洋菓子問屋として濱三郡切つての繁昌店である實深に營業振りの堅實な点と商才に富んだ高岡君の活動による。

全国的著名に
なつた久保田のパン
利かぬ氣の現主人公久保田六五郎氏はさもへい履の如く鐵道の重職を去つてからカイゼル式の鏡を惜しげもなくそり落してしまつて

新鮮な魚と中食を
手軽に食する魚太
此ふした不況の時、勉強に限るとトモモ、甘いものを安く喰はせる店に紺屋町縣社入口角に魚太があるウ。父君の志を承けて有ゆる奮闘に快哉を叫んでゐられる。

丸ほん家具店
兄弟打揃つての健闘は酬えられて平の丸ほんとしてその繁榮を誇るに立ち至つたが此の兄弟こそは勝つて兜の緒をシツカと締めてゐる所に眞の味がある。益々大成を期して一層品質の優良に努めてゐることが卒直に總べてを標示してゐる。

釜屋商店
同店の總ては不變の激繁が何物も物語つてゐる。

マルトモ書店
不景氣を忘れんとせば先づ同店を覗けよとしてその繁榮振りを目まぐるしい柴田氏の活動振りを見るのが第一である。

依然として堅い店は
堅い店の光がある
和久井屋漆器店
漆器家具店として品質の精撰したもののみを自慢で賣つてゐるだけに一旦取引した客は十年も廿年も親の代から子の代まで變らない所に同店の信用が裏書せられてゐる。ダイヤの光は永久に滅しない燦然として底光りのする所に眞價がある理だ。

取引盛んな
大一屋商店
荒物雜貨其の他日用品の問

暑中御伺申上候

暑中御伺申上候

料理手
魚太
（角口入社縣）町屋紺

御料理
越乃家
電話三三〇

北川吳服店
お華客本意店として好評のお品も豊富に取揃へてあり價格も安價に販賣するので隆盛を極めてゐる。亦電話三九四番で御申付け下されば迅速に配達もする勉強振りに一般に考はれてゐる。

平町紺屋町
住吉屋本店
電話六二二番

平町紺屋町
炭屋旅館
電話一三八番

平町三丁目
久保田のパン
電話三八三番

吉田眼科病院
平町研屋町
電話六八番

清酒
白萩平支店
サツホロビール
ヤマサ醤油
代理店
平研町 島廉 電話四四三番

和洋菓子問屋
高岡屋商店
平町研町
電話四〇六番

安
吉村製綿店
平町研町
電話二五七番

夏家具の賣出し中
漆器
本丸ほん
平町三丁目 電話三五九番

和洋銅鐵金物問屋
久釜屋商店
諸橋久太郎
平・五 電話九番・九九番
三井生命保險株式會社代理店

關内藥局
平町四丁目 電話四番

氷水から藤市へ
美味と大盛で好評
勉強の親玉配達迅速

讀書子の忠實な番頭
書籍・雜誌・文房具
マルトモ 柴田書店
平町四丁目 電話三三四・五九七番

高久醫院
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
醫學士 赤高 電話五二三番
藥劑士 佐竹 羽久 雄清 忠

和久井屋漆器店
漆器と家具の御用は當店へ
電話四〇五番

酒舖 玉川屋
平町研町 電話六五二番

簡易ノ金融趣味ノ貯蓄
共存共榮 誠意堅實
大藏大臣免許
磐城無盡商會
會長 小宅喜久治
電話二七八番

佐藤三平
山崎佐一郎
三井富吉